

電子提供制度適用後の株主総会資料に関する 当社の当面の方針について

会社法の改正に伴い、令和4年9月1日に株主総会資料（法定の株主総会参考資料等をいいます。）の電子提供制度が導入されます。

電子提供制度とは、株主総会資料を自社のホームページ等のウェブサイトに掲載し、株主様に対し当該ウェブサイトのアドレス等を書面で通知する方法により、株主様に対して株主総会資料を提供することができる制度です。

電子提供制度は、上場会社に対して強制適用されることから、当社では、令和5年3月以降に開催される株主総会から電子提供制度が適用されます。

同制度によれば、株主様にお届けする書面は、簡易な招集通知（株主総会資料をウェブサイトに掲載したことおよびウェブサイトのアドレス等を記載したお知らせ）のみで足りることとなり、株主総会資料を書面で受領したい株主様は、令和4年9月以降、株主総会の基準日までに、口座を開設している証券会社または株主名簿管理人を通じて「書面交付請求」のお手続きをお取りいただく必要があります。

ただし当社は、株主様への情報ご提供を重視し、当面は「書面交付請求」の有無にかかわらず、従来と同様に株主総会資料や議決権行使書を書面でお届けする方針です。なお、このような当面の対応を終了し、「書面交付請求」のお手続きをお取りいただいた株主様に限り書面交付を行う際には、事前に株主様へお知らせいたします。

電子提供制度
に関する
お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル

0120-696-505

<https://www.tr.mufig.jp/daikou/denshi.html>

（受付時間）
土・日・祝日等を除く
平日9:00～17:00

近鉄グループホールディングス株式会社

〒543-8585 大阪市天王寺区上本町6-1-55

TEL. 06-6775-3445

企業情報サイト <https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/>

Kintetsu Report

第111期 事業活動のご報告

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで



観光特急「あをによし」

近鉄グループホールディングス株式会社

証券コード：9041



「近鉄グループ中期経営計画2024」のもと、 グループ事業の再編と構造改革を進め、 収益力の向上と企業体質の強化を図ってまいります。



代表取締役会長
グループCEO

小林 哲也



代表取締役社長

小倉 敏秀

» ごあいさつ

平素は、当社グループの事業運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

このほど、第111期事業年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の業績がまとまりましたので、各事業における最近の取り組みなどと合わせて、ご報告申しあげます。

当期も、新型コロナウイルス感染症が収束せず、期末配当につきましては、1株につき25円とさせていただきます。

引き続き、グループ事業の再編と構造改革を進め、収益力の向上と企業体質の強化を図ってまいりますので、株主の皆様には何卒ご理解賜りたく存じます。

» 今後の事業展開

当社は、昨年5月に策定した「近鉄グループ中期経営計画2024」に基づき、個人消費の動向に影響を受けやすい事業ポートフォリオを変革し、リスク耐性を強化するとともに、成長ドライバーの拡充を目指しております。その施策の一環として、持分法適用関連会社である近鉄エクスプレスを完全子会社化することにより、同社がグローバルに展開する物流事業を当社の事業ポートフォリオの中核に組み込むべく、同社株式の公開買付けを実施しております。

運輸業では、本年4月に大阪難波・奈良・京都を結ぶ観光特急「あをによし」の運行を開始いたしました。引き続き観光やお出かけ需要を創出する一方、駅オペレーションや営業戦略におけるデジタル技術の活用と自動運転の研究を進め、収益性の向上を目指してまいります。また、厳しい事業環境の中でも安全・安心・快適な輸送サービスを継続し公共交通としての使命を果たしていくため、本年4月に鉄軌道旅客運賃の改定に向けた認可申請を行いました。

不動産業では、三大都市圏におけるマンション分譲事業の強化と地方中核都市への進出を図るとともに、アフターコロナのニーズに合わせた商品を提供してまいります。また、近鉄沿線において、河内

小阪、学園前、大和西大寺などで新たな時代の住み方・働き方を提案すべく、スマートシティ、エコシティ、コンパクトシティの概念を取り入れたまちづくりの検討を進めてまいります。

百貨店業では、あべの・天王寺エリアの魅力最大化の取組みを加速させるための店舗改装等を進め、地域中核店・郊外店については、生活機能・商業機能・コミュニティ機能を融合したタウンセンター化を進めてまいります。また、フランチャイズ事業・EC事業の推進などさらなる事業構造改革を推進いたします。

ホテル業では、所有・直営型と運営受託型の2軸でホテル事業を展開し、歴史ある「都ホテル」ブランドを持つ近鉄・都ホテルズとホテル経営の知見を持つ外部パートナーとの緊密な連携により、各ホテルの価値最大化を目指してまいります。

旅行業では、さまざまな趣味をオンラインで深めることができる「クラブツーリズムパス」の会員増加を図るほか、地方自治体等と協働して地域の観光資源の魅力を発信していく「着地型旅行の拡充」を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年6月

A maroon Shinkansen train with a floral livery is shown traveling on tracks. The train has a distinctive design with white floral patterns on its side. It is moving through a green landscape with hills in the background. Overhead power lines and support structures are visible above the tracks.



1・3・4号車ツインシート



2号車サロンシート



2号車販売カウンター

正倉院に用いられる「校倉造（あぜくらづくり）」をイメージした販売カウンター。奈良県産品を使ったスイーツや車内限定のオリジナルグッズをはじめ、クラフトビールやおつまみを販売しています。

○大阪難波 ⇄ 京都 1,960円*

○大阪難波 ⇄ 近鉄奈良 1,300円

○近鉄奈良 ⇄ 京都 1,370円

● ツインシートを2名、サロンシートを3名または4名でご利用の場合

● 料金には運賃、特急料金、特別車両料金が含まれます。

※2022年4月29日から当面の間、「あをによし」に大阪難波～京都間でご乗車の場合、特急料金大人920円・子供460円を、大人790円・子供400円に割引します。

一般車両の更新、車内防犯対策	180億円
次世代の営業機器導入	60億円
将来へ向けた技術開発	30億円



▲ 新型一般車両



▲ 難波トンネル耐震補強工事



▲ 新型一般車両 車内イメージ



▲ 可動式ホムンクルス

地域活性化を目指した取り組み

近畿グループは、沿線人口の減少をはじめとした社会の変化に柔軟に対応し、安全・安心で便利な生活サービスと、観光振興による交流人口の拡大を図っています。地域との連携、協働、相互理解を続け、地域とともに成長し続ける企業を目指し、「住みたい」「訪れたい」まちづくりを行います。

▶ 取り組み 01 松阪駅～賢島駅間で サイクルトレインを運行

近畿日本鉄道は、4月、沿線の三重県松阪市、明和町、伊勢市、鳥羽市、志摩市と各市町観光協会と共同企画し、山田線・鳥羽線・志摩線の一部普通列車をサイクルトレインとして運行しました。サイクルトレインでは自転車をそのまま車内に持ち込めるので、降車後すぐに観光スポットの周遊や地域が誇る自然景観の中でサイクリングをお楽しみいただけます。さらに、田原本線においても、奈良県や近隣各市とともにサイクリング推進施策に関連してサイクルトレインを運行し、沿線地域の活性化を図りました。



▲ サイクルトレインご利用イメージ



▲ 生駒レトロ フォトコンテスト

▶ 取り組み 02 生駒山エリア 活性化プロジェクトを実施

近畿日本鉄道では、生駒山エリアにおいて、「レトロ」をテーマにした地域ブランディングによる活性化に取り組んでいます。生駒市観光協会の協力を得て、生駒山エリアに残るレトロな魅力発信を目的としたフォトコンテストを実施し、多数ご応募いただきました。今後は生駒市だけでなく東大阪市とも協力し、生駒山エリアのイメージを高め、一緒に地域全体のブランディングを進めていきたいと考えています。

▶ 取り組み 03 近鉄電車の車内で、 ものづくり体感イベントを開催

近畿日本鉄道、八尾市、株式会社みせるばやおは、3月、大阪上本町駅に停車する電車内とホームで、八尾市の伝統産業や企業のものづくりを紹介するイベント「こうばのでんしゃ FactorISM in 近鉄電車」を開催しました。ものづくりの現場を身近に感じていただくワークショップのほか、八尾市の企業が誇る商品の販売も実施。今後も、八尾市をはじめ大阪のものづくり文化の魅力を発信することで、沿線地域の活性化を目指します。



▲ ボタン装飾のワークショップ



▲ ご当地デザインを施した壁画

▶ 取り組み 04 藤井寺駅開業100周年を記念して、 ご当地デザインの壁画を設置

近畿日本鉄道と藤井寺市は、大阪で唯一の世界遺産である百舌鳥・古市古墳群への来訪客をおもてなしするため、3月、開業100年を迎える藤井寺駅にご当地デザインの壁画を設置しました。壁画には、古市古墳群、葛井寺など市内の観光スポットや近鉄電車などが、同市出身の絵本作家・長谷川義史氏によってデザインされています。また、壁画内にはデジタルサイネージも設置し、藤井寺市の魅力を配信しています。

▶ 取り組み 05 近鉄百貨店と三重県が 「産業振興等に関する協定」を締結

近鉄百貨店と三重県は、「産業振興等に関する協定」を締結しました。両者が持つ情報やネットワークを有効に活用し、連携して県産品や三重県の魅力発信に取り組んでいきます。近鉄百貨店では四日市店のPlugs Market（プラグス マーケット）で三重県の魅力を発信するイベントや商品販売を行っており、今後は大阪府内の店舗などにおいても三重県産品の販売を予定しています。三重県は近鉄百貨店に対し、魅力ある県産品の事業者の情報提供などの協力により、ともに県産品の販売促進を図るなど、三重県の産業の振興発展および地域の活性化に努めてまいります。



▲ 近鉄百貨店 四日市店 Plugs Market

TOPICS 01 大和西大寺駅の駅ナカ商業施設「Time's Place 西大寺」に、眺望ダイニングスペースがオープン

近 鉄リテリングは、3月、大和西大寺駅の駅ナカ商業施設「Time's Place 西大寺」内に、眺望ダイニングスペース「VIEW TERRACE (ビュー・テラス)」をオープンしました。「VIEW TERRACE」では、刻々と切り替わる線路や行き交うさまざまな種類の列車を眺めながら、「VIEW TERRACE」内にある店舗のオリジナルクラフトビールやスイーツ、フード、ドリンクを客席でお楽しみいただけます。ご友人やご家族とのカフェタイムに、電車の待ち時間やお仕事帰りに、憩いのひとときをお過ごしいただける空間をご提供します。



「VIEW TERRACE」内にある店舗

- クラフトビールレストラン
「YAMATO Craft Beer Table」
- カレー専門店
「JOTO CURRY」
- スイーツ店
「まほろば大仏プリン本舗」
- 惣菜専門店
「Vege & Deli OLIVE」



▲ YAMATO Craft Beer Table

TOPICS 02 シェラトン都ホテル東京サービスオフィス事業を展開

シ エラトン都ホテル東京では、4月より、2階の一部客室を改修し、快適なオフィスとしてご利用いただけるサービスオフィス事業「グランオフィス 白金」を開始しました。「グランオフィス 白金」は、オフィスサービスとホテルサービスが融合した新業態のオフィスです。このオフィスは専有部のほかに、契約者専用の共有ラウンジとミーティングルームを併設し、フロントサービス、プールやフィットネス、宿泊のご優待など、ホテルならではのサービスもご利用いただけます。本事業を通じて、アフターコロナの新たなワークスタイルをご提供してまいります。



▲ オフィス



▲ ミーティングルーム

TOPICS 03 近鉄不動産の宿泊特化型ホテル「フォーズホテル 近鉄 大阪難波」を開業

近 鉄不動産は、3月、アフターコロナを見据えた新時代の宿泊特化型ホテル「フォーズホテル 近鉄 大阪難波」(全69室)を、近鉄・阪神「大阪難波」駅から徒歩1分の立地に開業しました。スタッフと非対面で利用可能な自動チェックイン機の導入、ホテル全館における抗ウイルス・抗菌加工の実施、全客室におけるスマートスピーカーによる非接触のコンシェルジュ機能など、快適で安全・安心の環境をご提供します。



▲ 客室



▲ 外観

※今回発送分から株主様ご優待券をご利用いただけます。

TOPICS 04 近鉄高架下初の賃貸ガレージハウス「K・BLOC HANAZONO」が竣工

近 鉄不動産と近畿日本鉄道は、「河内花園」駅東側の鉄道高架下において、鉄道高架下有効活用として近鉄線では初となるガレージハウス「K・BLOC HANAZONO」(6棟12戸)を3月、竣工しました。車・バイク愛好家の方のほか、オフィス、アトリエ、撮影スタジオなど用途にあわせて自由に活用できます。近鉄不動産と近畿日本鉄道は、鉄道高架下や遊休地において、新しいワーク・ライフスタイルの提案を続けてまいります。

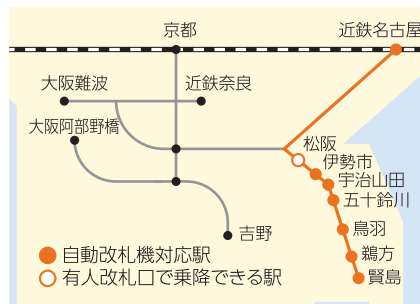


▲「K・BLOC HANAZONO」の外観

TOPICS 05 QRコードを活用したデジタルきっぷサービスを開始

近 畿日本鉄道は、3月、首都圏などのお客様誘致を図るため、QRコードを活用したデジタルきっぷサービスを開始しました。販売WEBサイト「きんてつチケットEモール」でクレジット決済によりデジタルきっぷを購入し、各駅の自動改札機でスマートフォンのQRコードをかざすことで、購入から利用までスマートフォンを使ってシームレスに旅行を楽しんでいただけます。今回は、近鉄名古屋駅のほか、伊勢志摩エリアの宇治山田駅など7駅の自動改札機にQRコードリーダーを設置。今後、利用できる駅や施設を拡大し、デジタルきっぷの種類も増やす予定です。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



▲自動改札機のQRコードリーダーにかざす

TOPICS 06 「シェラトン都ホテル大阪」×「海遊館&ニフレル」フォトウエディングプランを販売

シ エラトン都ホテル大阪と環太平洋の自然環境を再現する水族館「海遊館」、水族館、動物園、美術館が融合した生きているミュージアム「ニフレル」は、開館前に撮影を行うフォトウエディングプランの販売を2月から開始しました。大規模な結婚式や披露宴が難しいコロナ禍の新しいウエディングスタイルとして、お二人の一生の思い出に残るウエディングフォトを魅力的な空間で撮影します。



▲海遊館「太平洋」水槽前

TOPICS 07 大阪・関西万博での日本初「空飛ぶクルマ」の実現を目指して、(株) SkyDriveへ出資

近 鉄グループホールディングスは、国内で唯一、有人飛行試験に成功した「空飛ぶクルマ」のフロントランナーである(株) SkyDriveへの出資を決定しました。今後、近鉄グループでは、2025年の大阪・関西万博において、「空飛ぶクルマ」の実現を目指してまいります。また、両社では、大阪・伊勢志摩エリアなど近鉄沿線地域を中心に、市場性調査やビジネスモデルなど、事業の成立可能性の検討を進めています。

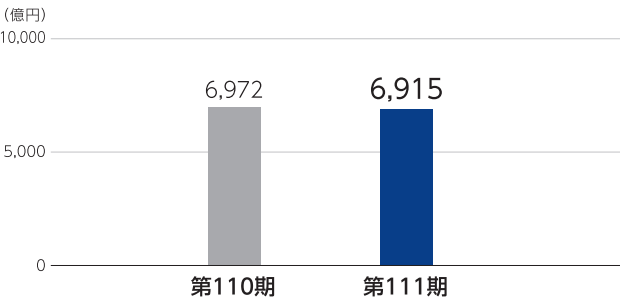


▲空飛ぶクルマ

©SkyDrive

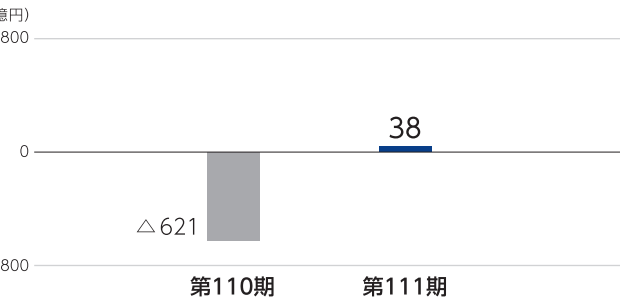
営業収益

新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、運輸業、不動産業およびホテル・レジャー業で増収となりましたが、当期より適用した「収益認識に関する会計基準」等の影響により、流通業で売上が大幅に減少したため、減収となりました。



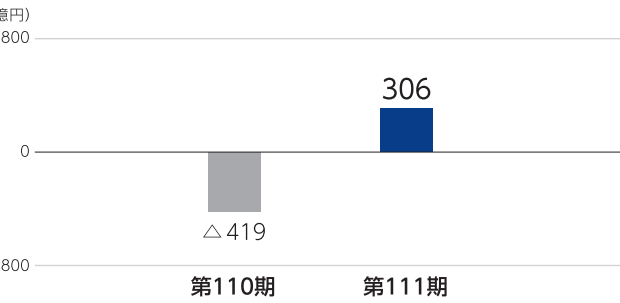
営業損益

各部門において損益が改善したことにより、利益計上となりました。



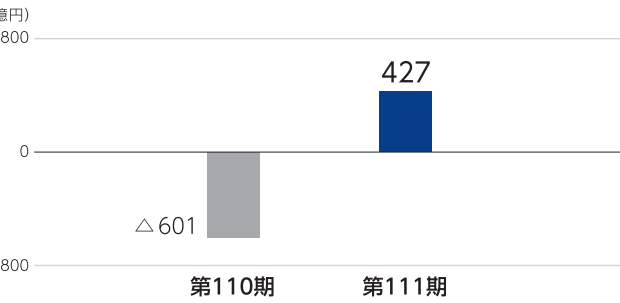
経常損益

営業損益が改善したことに加え、持分法による投資利益が増加したため、利益計上となりました。



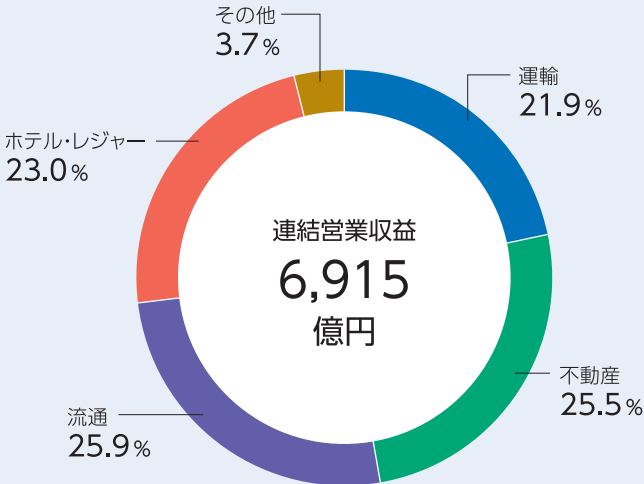
純損益

ホテル事業再編によるホテル資産の売却益を計上したこと等により、利益計上となりました。



※記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

事業別の概況 〈セグメント別構成比〉



運輸 52社
(うち、連結子会社 23社)

鉄軌道部門で、前期の緊急事態宣言期間中の出控えの反動増や、10月から12月にかけて定期外で輸送人員がやや持ち直したこと等により増収となりましたが、今期も新型コロナウイルスの影響を受け、損失計上となりました。

〈営業収益・営業損益〉

期	営業収益 (億円)	営業損失 (億円)
第110期	1,502	△246
第111期	1,589	△27

不動産 14社
(うち、連結子会社 5社)

不動産販売部門で、マンション分譲戸数が増加したことに加え、不動産賃貸部門で一部のオフィスビル等の売却収入があったため、増収増益となりました。

〈営業収益・営業損益〉

期	営業収益 (億円)	営業利益 (億円)
第110期	1,429	148
第111期	1,849	293

流通 13社
(うち、連結子会社 10社)

緊急事態宣言の発出の影響による臨時休業等の範囲が前年より縮小したこと等により、「収益認識に関する会計基準」等適用前の売上高は増加しましたが、損失計上となりました。

〈営業収益・営業損益〉

期	営業収益 (億円)	営業損失 (億円)
第110期	3,131	△46
第111期	1,882	△15

ホテル・レジャー 35社
(うち、連結子会社 28社)

前期と比較して出控えの影響が緩和されたほか、旅行部門で旅行業以外の業務受託に注力したこと等により増収となりましたが、依然として厳しい状況が続き、損失計上となりました。

〈営業収益・営業損益〉

期	営業収益 (億円)	営業損失 (億円)
第110期	1,141	△492
第111期	1,666	△216

※各事業の営業収益の金額には、セグメント間の内部売上高等が含まれております。 ※各事業の会社数には

非連結子会社および関連会社を含んでおりますが、営業収益には非連結子会社および関連会社を含んでおりません。 ※記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要等

会社概要

設立 昭和19年6月（前身の奈良軌道株式会社は明治43年9月）
資本金 126,476百万円

役員

代表取締役会長 グループCEO 小林 哲也
代表取締役社長 小倉 敏秀
取締役 専務執行役員 白川 正彰
専務執行役員 若井 敬
取締役 常務執行役員 原 史郎
常務執行役員 林 信
常務執行役員 松本 昭彦
常務執行役員 泉川 邦充
取締役（社外取締役）岡本 囧衛
（社外取締役）柳 正憲
（社外取締役）片山 登志子
（社外取締役）長岡 孝
監査役（常勤）田淵 裕久
夢田 均
監査役（社外監査役）前田 雅弘
（社外監査役）鈴木 一水
（社外監査役）井上 美智子

株式の状況

- 1. 発行可能株式総数 500,000,000 株
- 2. 発行済株式の総数 190,662,061 株
- 3. 株主数 212,850 名

株式事務のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 なお、中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日といたします。
株主名簿管理人／ 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL.0120-094-777(通話料無料) ※[郵送物の発送と返戻]、「支払期間経過後の配当金」および「特別口座」につきましては、上記連絡先にお問い合わせください。 特別口座に関する手続書類につきましては、下記の方法でもご請求いただけます。 ●インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/
公告方法	電子公告 https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

第111期定時株主総会を開催いたしました

令和4年6月17日開催の当社第111期定時株主総会において、次のとおり報告ならびに決議(原案どおり承認可決)されましたので、ご報告申し上げます。

報告事項	第111期(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)事業報告、連結計算書類および計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件	決議事項	第1号議案 剰余金の配当の件…… 期末配当として当社普通株式1株につき25円の剰余金の配当を実施することを決定いたしました。 第2号議案 定款一部変更の件…… 原案どおり承認可決されました。 第3号議案 取締役12名選任の件… 候補者12名全員が選任され、それぞれ就任いたしました。
------	--	------	---

決議内容の詳しい情報は、当社ホームページに掲載しております。 近鉄 株主総会 検索 <https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/ir/kabunushi/index.html>

Information

株主優待のご案内

毎年3月31日、9月30日を基準日として、株主の皆様に対し、ご所有の株式数に応じて次のとおり優待を行っております。

乗車券、乗車証			
下表の基準により発行いたします。			
ご所有株式数	近畿日本鉄道線沿線招待乗車券	株主優待乗車券	株主優待乗車証
	近鉄電車全線（葛城山ロープウェイを除く。）に1枚1人片道適用		持参人は誰でも利用でき、近鉄電車全線（葛城山ロープウェイを除く。）および近鉄バス全線（一部路線を除く。）に通用
100株以上 1,000株未満	4枚	—	—
1,000株以上 2,000株未満	4枚	4枚	—
2,000株以上 3,000株未満	4枚	8枚	—
3,000株以上 4,000株未満	4枚	12枚	—
4,000株以上 5,100株未満	4枚	16枚	—
5,100株以上 15,000株未満	4枚	—	1枚
15,000株以上 30,000株未満	4枚	—	2枚
30,000株以上 50,000株未満	4枚	—	3枚
50,000株以上 100,000株未満	4枚	—	4枚
100,000株以上 1,000,000株未満	4枚	—	5枚
1,000,000株以上	4枚	—	10枚

※特急列車をご利用の場合は、別に特急券をお買い求めください。

株主様ご優待券

100株以上ご所有の株主様に対し、近鉄グループ施設などのご優待券を一律1冊交付いたします。

発送時期と有効期間

	3月31日現在の株主様		9月30日現在の株主様	
	発送時期	有効期間	発送時期	有効期間
近畿日本鉄道線沿線招待乗車券 株主様ご優待券	6月下旬	到着後 12月31日まで	12月上旬	到着後 7月31日まで
株主優待乗車券	5月20日頃	到着後 11月30日まで	11月20日頃	到着後 5月31日まで
株主優待乗車証	5月20日頃	6月1日から 11月30日まで	11月20日頃	12月1日から 5月31日まで

※株主様ご優待券の有効期間は、ご優待によって上記と異なる場合がございます。

特別口座に当社株式をご所有の株主様へ

平成21年1月に実施された株券電子化に伴い、それまでに証券会社等に預託されなかった株式は、当社が三菱UFJ信託銀行株式会社に開設した「特別口座」において管理しております。**「特別口座」では、証券市場において株式を売買できないなどの制約があります**ので、次のお手続をお勧めいたします。

①証券会社等の口座への振替

「特別口座」にご所有の株式を証券会社等に開設された口座に振り替えるお手続です。なお、証券会社等に口座をお持ちでない場合は、あらかじめ証券会社等に口座を開設していただく必要があります。

②単元未満株式の買取請求

「特別口座」にご所有の単元未満株式を、市場価格にて当社に売却（買取請求）するお手続です。

単元未満株式の買増請求・買取請求のご案内

■単元未満株式の買増し

株主様がご持ちの単元未満株式と併せて1単元（100株）となる数の株式を、当社が市場価格にて株主様に売却（株主様にとっては買増し）いたします。



■単元未満株式の買取り

株主様がご持ちの単元未満株式を、当社が市場価格にて買取りいたします。



〈お問い合わせ先〉

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL. 0120-094-777(通話料無料)
※特別口座に当社株式をご所有の株主様のマイナンバーのお届けにつきましても、上記のお問い合わせ先にご連絡ください。
※証券会社等の口座に単元未満株式をご所有の株主様は、お取引口座のある証券会社等へお申し出ください。